

4 公開授業について

児童生徒の体力向上を図るため、体育・保健体育の公開授業を小・中学校各1校で実施し、体力向上推進委員による授業の視察及び指導、助言を行うとともに、体力向上推進委員会による提言の周知・啓発活動を合わせて行いました。

(1) 小学校における公開授業

西原村立山西小学校 第6学年 「器械運動」 R3.11.16

① 本時の目標

自己の課題を把握して練習に臨み、安定して技を行うことができる。

② 本時の展開

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-------------|--|--|
| 導 入 | 1 準備運動 2 基礎力アップタイム 3 本時のめあてを確認する | ○タブレットを持ち帰り、事前に自分が取り組む技の手本の動画を見て、技のポイントを確認させるようにする。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】 自分の課題に気を付けて運動し、たくさんの技ができるようになろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【課題】 どこを改善すると技が安定して行えるようになるだろうか。</p> </div> | ○タブレット端末に配付された技の手本動画や技カードを見て、自己の課題や技のポイントを再確認する。 |
| 展 開 | 4 課題に気を付けて練習する。 (スキルアップタイム2) | ○タブレット活用ガイドには、撮影位置、見るポイント、活用の仕方の工夫を記載しておき、効果的に自分の動きを分析できるようにする。 |
| | 5 課題が修正できているか確認する。 (チェックタイム) 6 技の安定・技の連続を意識して練習する。(スキルアップタイム3) ・児童が取り組んでいる技別により動きを確認する。 | ○動きを身に付けている児童に試技をさせ、なぜできるのかを考えさせるようにする。 ○互いに運動を見てアドバイスし合うように促す。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【具体の評価規準】 それぞれの技の行い方や自己の改善点を理解して運動し、その技を連続して行うことができる。</p> </div> | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめ】 技を安定して行うためには、手の付き方や力の入れ方、それぞれの技の回転時のポイントに気を付ける。</p> </div> | |
| ま と め | 7 学習の振り返りをする。 ・学習カードに記入する。 ・発表をする。 | ○技の財産表を見て、自己評価する。 ○振り返りでは、できるようになった動きや友達との関わりといった視点を持たせて記述させる。 |

③ 授業の様子



授業の導入で一人一台端末を利用し、本時で自分が挑戦する技のお手本動画を見て、自己の課題や技のポイントを確認しています。



やってみる

試行錯誤を繰り返して学びを深めていきます。

タブレット端末や技の連続図を活用し、運動のポイントをつかんだり、自分の課題を捉えたりします。

伝えあう



確かめる



④ 成果と課題 (◎：成果、▲：課題)

- ◎ 単元計画を児童にもわかるように示してあったので、見通しをもって学習に取り組むことができていた。
- ◎ 家庭にタブレットを持ち帰り、技の動画を見る時間を設定したことで、授業の中で運動をする時間を確保することができた。また、自分が挑戦する技のお手本動画をじっくり見ることができ、家庭でも練習してみようとする意欲を引き出すことにつながった。
- ◎ タブレットの活用で、自己の課題を見付けることができるようになった。
- ▲ 児童がそれぞれの技に取り組んでいたため、技のポイントを共通理解し伝え合うことがうまくできていなかった。児童の実態に応じて技を精選し学ぶべきところをしっかりと押さえていく必要がある。